

令和6年度

一般会計決算額を市民一人あたりで計算すると…

(歳出目的別) (令和7年3月31日現在人口88,189人)

一般会計決算額を市民一人あたりに計算すると**421,479円**の市民サービスを行っています。

議会費

(議会運営関係事業)

2,732円

[決算額 2億4,096万円]

総務費

(市政運営管理費など)

40,274円

[決算額 35億5,172万円]

民生費

(高齢者・子育て支援事業など)

163,289円

[決算額 144億32万円]

衛生費

(ごみ処理事業など)

31,704円

[決算額 27億9,594万円]

農林水産業費

(農業振興推進事業など)

4,336円

[決算額 3億8,235万円]

労働費・商工費

(地域産業振興など)

10,128円

[決算額 8億9,316万円]

土木費

(道路改良維持管理など)

20,663円

[決算額 18億2,224万円]

消防費・災害復旧費

(消防防災関係事業など)

17,136円

[決算額 15億1,118万円]

教育費

(小中学校維持管理事業など)

38,539円

[決算額 33億9,875万円]

公債費

(借入金償還)

23,530円

[決算額 20億7,510万円]

諸支出金・予備費

(特別会計・公営企業会計繰出など)

69,148円

[決算額 60億9,807万円]



各会計別決算収支の状況

会計名	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	翌年度へ 繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計		386億7,544万円	371億6,979万円	15億 565万円	2,354万円	14億8,211万円
国民健康保険特別会計		75億9,775万円	75億1,308万円	8,467万円	0万円	8,467万円
市営住宅管理事業特別会計		5,140万円	5,156万円	△16万円	0万円	△16万円
介護保険特別会計		71億6,939万円	68億7,534万円	2億9,405万円	0万円	2億9,405万円
後期高齢者医療特別会計		27億1,275万円	27億 395万円	880万円	0万円	880万円
合 計		562億 673万円	543億1,372万円	18億9,301万円	2,354万円	18億6,947万円

※市営住宅管理事業特別会計の歳入不足については、翌年度の歳入を繰り上げ、不足分に補てんすることに対応しました。

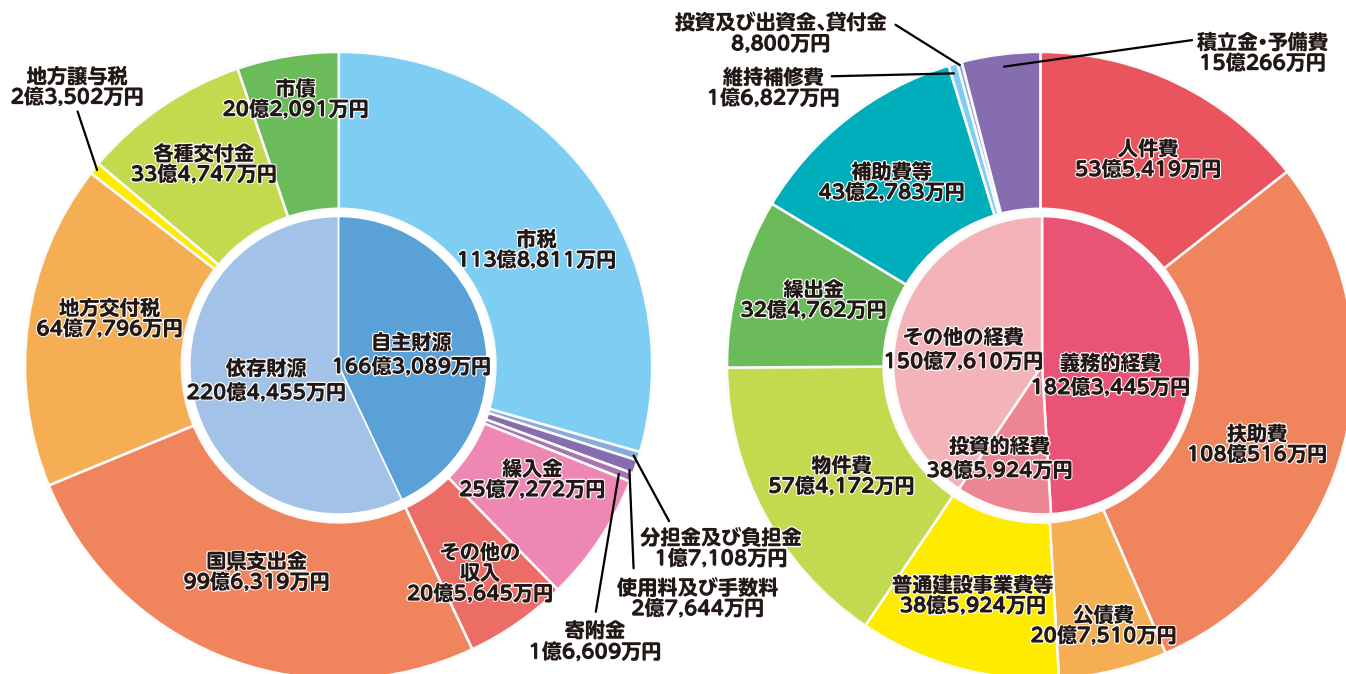
企業会計別決算収支の状況

会計名	区分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		事業収益	事業費用	資本的収入	資本的支出
水道事業会計		8億1,973万円	8億3,026万円	1億5,794万円	3億2,049万円
簡易水道事業会計		5,028万円	4,705万円	162万円	360万円
下水道事業会計		12億1,450万円	11億3,741万円	13億7,898万円	17億6,905万円
病院事業会計		6億9,806万円	6億1,163万円	7億 16万円	7億 18万円

決算概要

歳入決算額 386億7,544万円

歳出決算額 371億6,979万円



家計簿に例えると…

市の一般会計決算額は、金額が非常に大きいため、各決算額を市の人口で割り、額を縮小して1か月の家計簿に置き換えました。収入については、給料(市税・地方交付税・地方譲与税・各種交付金)及び実家からの援助(国県支出金)が全体の約81パーセントを占めています。支出については、医療費(扶助費)が特に大きな割合を占めています。

～1か月の収入～

給料(基本給)	12.9万円
(市税)	
給料(諸手当)	11.4万円
(地方交付税・地方譲与税・各種交付金)	
不動産収入・貯金の利子など	3.1万円
(分担金及び負担金・使用料及び手数料など)	
貯金の引き出し	2.9万円
(繰入金)	
実家からの援助	11.3万円
(国県支出金)	
銀行からの借入れ	2.3万円
(市債)	

合計 43.9万円

～1か月の支出～

食費	6.1万円
(人件費)	
医療費	12.2万円
(扶助費)	
ローン返済	2.3万円
(公債費)	
家のリフォーム	4.4万円
(普通建設事業費)	
光熱水費・被服費	6.5万円
(物件費)	
子どもへの仕送り	3.7万円
(繰出金)	
その他(町内会費など)	6.9万円
(補助費等・維持補修費・投資及び出資金、貸付金・積立金)	

合計 42.1万円

差額の1.8万円は翌月へ繰越 (= 翌年度繰越金)